

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興		4	林業の振興	1	林業の担い手の確保		
事業名	森林整備地域活動支援交付金事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
	細目	1	林業振興費	細々目	1	林業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
森林の有する多面的機能が十分発揮されるよう、森林施策計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、国が県及び市を通じ森林整備地域活動支援交付金を交付し、地域における活動の確保を図る。	国の実施要領に定める対象行為(森林経営計画の作成促進、施業集約化の促進、作業路網の改良活動)を行う交付対象者に交付金を交付。	実施要領に基づき協定を締結し、地域活動を実施。	
活動指標		成果指標	
協定の締結		地域活動の実施	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
1件 (財)やまぐち農林振興公社	1件	作業路網の改良活動 積算基礎森林 148.96ha	148.96ha
			成果指標の到達度(B/A) 100%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	交付金	745,000	220,500	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()	558,000	220,500
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		745,000	220,500	合計		558,000	220,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
なし	なし
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	2		
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興		4	林業の振興	1	林業の担い手の確保		
事業名	造林事業補助金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
	細目	1	林業振興費	細々目	1	林業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
造林事業を実施した森林所有者へ事業の経費の一部を補助金交付規則に基づき10分の2以内で補助		事業の経費の一部を補助することで、森林施業を推進する。		森林環境保全直接支援事業等造林事業を実施した森林所有者に対し、補助金交付規則に基づき補助金を交付			
活動指標			成果指標				
森林所有者の森林施業を推進			事業量		成果指標の到達度(B/A)		
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
-		-		補助対象額450,000円		補助額364,700円 施業件数 7件 施業面積 6.81ha	
						81 %	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	450,000	364,700	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	450,000	364,700
合計		450,000	364,700	合計		450,000	364,700

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.05	302,050

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
なし	

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	4	林業の振興	3	林業の基盤の整備			
事業名	森林整備加速化・林業再生事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
	細目	1	林業振興費	細々目	1	林業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
地域における間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図ることを目的とした国庫補助事業でH21～H23を事業期間とする。		地域における間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図ることを目的とし、林内路網整備等を実施。		県内示の中で、県補助金交付要綱、実施要領、事業評価実施要領、県作業道開設基準等に従い、作業路・基幹作業道を開設。	
活動指標			成果指標		
-			事業量		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
-		-		133	
				路網整備1500m 間伐11.44ha	
				路網整備2478m 路網整備933m 間伐11.44ha	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託費	5,132,400	5,132,400	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	委託費(繰越明許)	2,882,250	2,882,250		県支出金 ()	7,941,450	7,941,450
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		73,200	73,200	
合計		8,014,650	8,014,650	合計		8,014,650	8,014,650
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,510,250				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
なし		なし	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	4	林業の振興	3	林業の基盤の整備			
事業名	有害鳥獣捕獲事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
	細目	1	林業振興費	細々目	3	有害鳥獣	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
農作物被害の原因となる有害鳥獣の捕獲を猟友会に委託。近年は住宅地周辺にも出没があり農作物被害だけでなく人的被害も危惧される状況になっており、出勤回数が増加傾向		農作物被害の軽減等を目的に、有害鳥獣の駆除を猟友会へ委託。主に被害防止計画に定めるイノシシ・カラス・ヒヨドリを中心に通年で駆除活動を実施。		猟友会山陽支部及び小野田支部へ駆除を委託			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
発生予察に基づき捕獲方法、捕獲従事者を決定、積極的な捕獲の推進を図る。			捕獲数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
-		-		-		イノシシ79 カラス67ほか	
%							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	1,166,000	1,166,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	補助金	27,000	27,000		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		1,193,000	1,193,000	
合計		1,193,000	1,193,000	合計		1,193,000	1,193,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである 又は実績値を把握していない

4 ACTION

課題		改善策	
従事者の減少・高齢化 生息数・出勤回数が増加しており、被害防除活動とともに駆除活動を活性化させる等新たな施策展開が必要。		予算増額	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			